



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第4号

チーム玉幡

平成30年 5月29日(火)

校長 望月和彦

仲間と共に過ごした2泊3日の修学旅行！

5月9日から5月11日は、6年生54人にとって、待ちに待った2泊3日の修学旅行でした。5年生の3学期から準備を進め、見学グループや係を決めたり、見学地の学習をしたり、周到的な準備を積んで当日を迎えました。

たくさんの保護者に見送られて学校を出発し、一日目は江ノ島水族館と鎌倉をグループ見学しました。午前中はあいにくの小雨模様でしたが、江ノ島水族館ではたくさんの水槽の中の様々な魚や水生生物を珍しそうに眺め、イルカやアシカのショーに歓声を上げながら楽しむことができました。鎌倉大仏の前でお弁当を食べる頃には雨も上がり、午後はグループごとに作った鎌倉散策コースを鎌倉ガイドさんの説明を受けながら、足で歩いたり、江ノ電に乗ったりして見学しました。学習してきた



た実物に出会い、ガイドさんからは見学のポイントを教えてもらいながら、鎌倉の寺社や町並みを学習しました。あるグループのガイドさんからは「あいさつやマナーもとてもしっかりできて、とてもよい子たちですね。楽しくガイドさせてもらいました。」との言葉をいただきました。一日目の宿舎の相洋閣の前には太平洋が広がっていて、到着直後にはみんなで浜散策をしました。珍しい貝や石を拾ったり、サンダルで海に入ったり、子どもたちは大はしゃぎでした。「山梨県民にとっては昔も今も海は特別なあこがれだ」と改めて感じました。



2日目はバスで東京に向かい、「科学技術館」「国会議事堂」「東京タワー」「ANA 機体工場」を見学しました。日中韓首脳会談のため、道路のあちこちに警察官が大勢立っていて都心は物々しい警備体制でした。これも子どもたちにとっては珍しい光景になりました。科学技術館では、様々な体験コーナーで日本の科学技術の歴史や素晴らしさを学び、国会では参議院本会議場や天皇陛下の御休所（休憩室）などを見学しました。外では雷が鳴り大雨だったせいか見学者が少なく、衛視さん（国会の警備をする人）がとても丁寧に優しく説明してくれたことが記憶に残っています。傍聴席で口を閉じ緊張しながら本会議場を見ていた子どもたちの姿も印象的でした。東京タワーではカツカレーを食べ（3杯も食べていた子も）、エレベーターで展望台へ。遠くまで広がる東京のビル群を眺め、真下の米粒のような人や車を見られるガラスの床には子どもたちの行列ができていました。2日目の最終見学地はANA 機体工場です。（この見学は人気が高く、6ヶ月前に旅行業者と本校職員が予約開始日にネットで一齐に申し込みをして、幸運にも見学可能となった場所です。）



数メートル先で見る旅客機やエンジンの大きさに驚いたり、すぐ近くに着陸する飛行機に手を振ったり、貴重な体験をすることができました。2日目の宿舎は千葉市の京成ホテルミラマーレ。修学旅行の宿舎としては最高レベルだという添乗員さんの話のとおり、とてもステキなホテルでした。夕食は最上階の展望レストランで洋食のコース料理です。ナイフとフォークを手に子どもたちは少し緊張気味でしたが、夜景をバックにして次第に会話も弾み、とても嬉しくおいしそうでした。



最終日は、子どもたちの多くが一番楽しみにしていたディズニーランドのグループ行動です。天気は晴れ、暑くもなく、3日間の中で最も活動しやすい日でした。グループ行動は約5時間でしたが、スタート直後から1分も無駄にしたいくないような素早さでした。ガイドマップを片手に、「あっちにいこう!」「いや、こっちの方が待ち時間が少ない」とグループで相談しながら行動している子どもたちの目は、どの子もキラキラしていました。家族



では来たことがある子も多かったようですが、学校生活を一緒に過ごしている同級生全員で来たディズニーランドは特別なものだったようです。集合時刻が近づくと、お土産の袋を片手に最高の時間を満喫した笑顔の子どもたちが戻ってきました。事故もなく、集合時刻を全員が守れたことも素晴らしいかったです。

帰りのバスではビデオを見たり、終わりの会などをしたりしながら、ほぼ予定通りに学校に着くことができました。学校には出発時と同様に、たくさんの保護者の方が出迎えに来てくれていました。3日間家を離れた経験から、自分の家の心地よさや家族のありがたさも改めて感じられたのではないのでしょうか。

団長として、3日間子どもたちの様子を見ていて、次のようなことを感じました。

- 子どもたちが修学旅行の目的や目標をきちんと意識して行動できていたこと。
- 集団生活のルールやマナーを守り、自分のことばかりでなく、周りの同級生や見学先、宿舎の方々のことを考えた行動ができていたこと。
- 自分の係や役割の仕事を責任を持って果たし、他の人の仕事を手伝おうとする姿が見られたこと。
- 見学地では、説明を聞いたり、見るべきものは集中して見たり、積極的に体験したりして、学ぶ場面ではしっかりたくさんのことを学ぶことができていたこと。



今回の修学旅行は、54名にとって小学校生活の良き思い出にできたと同時に、準備・取り組みから当日の行動の中で様々な力をつけることができました。ご家族やお世話になった方々に感謝しながら、修学旅行で身につけたことや、成長できたことを、さらに今後の学校生活の中にいかし、高めていってほしいと願っています。

他の学年も、校外に出かけ様々な学習をしています

【1年生】5月23日、生活科の時間をつかって「西八幡公園」に出かけました。「はるをみつけにいこう」のテーマのもと、公園では春の草花や生き物の様子を観察したり、友だちと遊具で楽しく遊んだりしてきました。

【2年生】生活科の時間を使って、1学期中に徒歩で「まち探検」に出かける予定です。子どもたちの意見を聞きながら、現在見学場所を検討しています。新しく完成した中部公園セミナーハウスや地域のお寺などが候補にあがっています。

【3年生】社会科と総合の時間を使って、校区を東西南北に分けて「校区探検」をしています。5月11日は南方面、21日は東方面、28日は北方面に出かけました。

6月8日には西方面に探検に出かけます。土地利用の特色や違いを調べたり、地域の自慢できるものを探したりしています。



【4年生】5月23日に社会科で、甲府西消防署と甲斐市水道事務所に徒歩で見学に行きました。4年生では、地域にある人々の暮らしに役立つ仕事を学習しています。消防車や消防士の訓練、井戸から汲み上げている水など、普段見られない実物を見せていただきました。

【5年生】6月4日・5日の「林間学校」が迫っています。ハケ岳青少年自然の家に宿泊し、飯盛山登山、ナイト追跡、冒険ハイクなど様々な自然体験に挑みます。来年の修学旅行の訓練も兼ね、安全で充実した集団生活ができるように学校でも準備をしているところです。ご家庭でも持ち物の準備や健康観察などご協力をお願いいたします。